

NetAcademy

スタンダードコース

利用の手引き

2017年4月

岩 手 大 学
教 育 推 進 機 構

NetAcademy 利用のご案内

1. NetAcademy とは？

NetAcademy は ALC 社が開発した英語の e-learning 教材（IT を利用した学習）です。岩手大学の学生は全員、この教材を使ってコンピュータ上で英語の自学学習をすることができます。

日本の英語学習者の多くは、ネイティブスピーカーが話す早いスピードに慣れていないため、英語をうまく聞き取ることができません。また、リーディングについても、英文をすばやく読んで理解するのが苦手な学生が多く見受けられます。NetAcademy の教材は、英語を聴いてすばやく理解する力と英語を早く読む力を身につけるために開発された教材です。この教材を活用して、英語の力を向上させてください。TOEFL や TOEIC の試験対策としても使うことができます。

2. スタンダードコースの概要

「スタンダードコース」は以下の4つの教材から成っています。

- ① レベル診断テスト（語彙力診断とリスニング力診断）
- ② リスニング力強化コース：80 ユニット
- ③ リーディング力強化コース：80 ユニット
- ④ TOEIC (R) テスト演習コース：20 ユニット

TOEIC とは、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストで、日常的な会話やビジネスで通用するコミュニケーション能力の診断に向いています。日本の企業の中には、TOEIC で一定のスコアを獲得することを採用や昇進の条件にしている企業があり、そうした企業数は今後も増えていきます。同じような世界共通のテストに TOEFL があり、こちらはアメリカの大学で勉強しようとする人向けで、アカデミックな領域での英語力の診断に向いています。NetAcademy の教材は TOEIC 用に編集されていますが、TOEFL の受験にも十分役立ちます。

主に受講するコースは上記②と③になりますが、②と③の学習を始める前に、最初に①の「レベル診断テスト」を受ける必要があります。「レベル診断テスト」を受けると、受講者の英語力のレベルが分かります。テストの内容は、語彙力診断（約 15 分）、リスニング診断（約 20 分）から成り立っています。

②と③の学習では、各ユニットごとに 20～30 分の勉強時間が目安になります。

④の「TOEIC (R) テスト演習コース」は、TOEIC のミニチュア版のテストです。NetAcademy で一定期間学習した後にこのテストを何回か受けると、学習成果が自分で分かるようになります。1 ユニットのテストで 30～40 分かかります。

①のレベル診断テストを受けると受講者のおよそのレベルが把握できますので、②と③の課題をするとき、自分のレベルに合ったユニットを選んで学習することができます。もちろん、自分のレベル以上のユニットを学習してもかまいません。

NetAcademy は、うまく活用すれば、短期間のうちに大きな成果を上げることができます。曜日と時間を決めて半年から1年かけてゆっくり学習する、長期休みを利用して集中的に学習するなど、自分のペースで学習することができます。大事なことは、途中で諦めないで、継続して学習することです。

3. 利用の仕方と学習操作

以下のような手順で学習してください。

(1) NetAcademy の起動とログイン

- ① 学内にあるコンピュータを起動し、自分のユーザー名とパスワードを入力してコンピュータの画面に入ってください。
- ② 画面上にある Internet Explorer を起動させてください。岩手大学内にあるコンピュータでは、Internet Explorer を起動させると、岩手大学のホームページが自動的に現れます。
- ③ 岩手大学のホームページの右又は左上にある「お気に入り」（星印のアイコン）の中に、「ALC NetAcademy 2」が入っていますので、それを開いてください（なお、Internet Explorer を立ち上げ、そこに NetAcademy の URL (<https://ecall.uec.iwate-u.ac.jp/onet2/>) を入力することによってもアクセスできます)。
- ④ 「ALC NetAcademy 2」の画面が現れますので、そこに自分の「アカウント」と「パスワード」を入力して「ログイン」してください（ここで使用する「アカウント」と「パスワード」は、①で使った「ユーザー名」と「パスワード」がそのまま使えます。「ログイン」すると「スーパースタンドコース」と「スタンダードコース」の2つのコースが表示されますので、「スタンダードコース」を選択して「サブコース一覧へ」をクリックしてください。

(2) レベル診断テストの開始

- ① 4つの「サブコース名」（レベル診断テスト、リスニング、リーディング、TOEIC(R) テスト演習）を含む画面が表示されます。ただし、初めての受講時には「レベル診断テスト」だけしか選択できないこともあります。
- ② 「レベル診断テスト」を選択し、それから「ユニット一覧へ」をクリックしてください。「レベル診断テスト」の画面が表示されます。
- ③ 「レベル診断テスト」には「語彙力診断テスト」と「リスニング力診断テスト」

の2つのテストがあります。まず、「語彙力診断テスト」を選び、「テストを開始する」をクリックしてください。テストが始まります。テストに関する指示は画面上に表示されますので、それに従ってください。

- ④ 「語彙力診断テスト」が終了したら、「レベル診断テスト」の画面に戻り、「リスニング力診断テスト」を開始してください（「リスニング力診断力テスト」をするときには、ヘッドセットを使用し、ほかの学生に迷惑をかけないように音量を調節してください）。
- ⑤ 「レベル診断テスト」の結果を見てください。「語彙力」は8段階、「リスニング」は5段階でレベル診断結果が判定され、そのレベルに応じた学習のアドバイスが提示されます。

*留意点

- ① テスト時間に制限はありませんが、リスニング問題は一度だけで、繰り返し聴くことはできません。
- ② レベル診断テストは他の学習（リスニング、リーディング、TOEIC(R) テスト演習）を始める前に一度だけしか受験できません。
- ③ 受験中は、問題提示画面が次に進むと戻ることはできません。問題に解答しないまま次の画面に進んでしまった場合などは、右上の画面を閉じる「×」ボタンをクリックしてテストを中断し、再度ははじめからやり直すことになります。

(3) 学習の仕方（リスニング）

「レベル診断テスト」を終了すると、3つの学習メニュー（リスニング、リーディング、TOEIC(R) テスト演習）で学習をすることができます。自分の目標に合わせて学習してください。以下、「リスニング」の学習について説明します。

- ① 「サブコース名」の中の「リスニング」を選択して、「ユニット一覧へ」をクリックすると、「リスニング」の学習ユニットの一覧表が表示されます。どのユニットを選んで学習してもかまいませんが、それぞれのユニットには難易度を表す星印（★）が付いています。「あなたのおすすめレベル」が画面上に出ますので、それに従って難易度を選ぶのがよいでしょう。
- ② ユニットタイトルの中から学習したいユニットを選択して「学習を開始する」をクリックしてください。学習が開始されます。
- ③ 各ユニットは「Step 1」から「Step 5」まで、段階を追って学習することになっています。学習の仕方や注意については画面上で「Guide」によって表示されます。この「Guide」には学習に関する大切な指示が書いてありますので、最初は必ずこれを読みながら学習してください。
- ④ 学習が終わったら、「Quit」を選んでください。学習の進捗状況に応じて「学

習終了マークをつける」「学習中マークをつける」「学習中マークをつけない」の中から一つを選んでください。「コメント」はとくに書く必要はありません。

(4) 学習の仕方（リーディング）

リーディングの学習の仕方は基本的にはリスニングと同じです。以下は要点だけを記します。

- ① 「サブコース名」の中の「リーディング」を選択して、「ユニット一覧へ」をクリックしてください。
- ② 学習したいユニットを選択して「学習を開始する」をクリックしてください。
- ③ 最初は必ず「Guide」に従いながら、Step 1 から Step 5 まで学習してください。慣れてくれば「Guide」は使わなくてもかまいません。
- ④ 学習が終わったら、「Quit」を選んでください。

(5) 学習の仕方（TOEIC(R) テスト演習）

この演習は、TOEIC と同じ形式の問題を扱っています。一つの演習につき 30 ～ 40 分ほどかかります。学習の進度や興味に合わせてトライしてください。TOEIC 対策にもなります。

4. 学習の終了の仕方（重要）

学習を終了するときには、「コース一覧」画面、または「サブコース」画面の上のメニューバーにある「ログアウト」から Web ブラウザを終了してください。正しく終了しないとトラブルの原因になります。

5. 学外のコンピュータから NetAcademy を利用する方法

VPN 接続という方法を使うと、学外のコンピュータ（たとえば家のコンピュータ）から NetAcademy の教材を学習することができます。

- ① 岩手大学のホームページを開き、「学部・大学院 附属施設」をクリックする。
- ② 移行した画面にある「教育研究推進施設」の中の「情報基盤センター」をクリックする。
- ③ 「情報基盤センター」のトップページの画面に「VPN 接続」があるので、それを選択する。
- ④ 指示と説明に従いながら、VPN 接続の手続きをする。やりかたが分からない人は、情報基盤センターの「利用案内」のページにある「VPN 接続の利用方法」

を読むこと。なお、この手続きは一度すませば、2回目以降は手続きは要りません。

- ⑤ VPN 接続をした状態で、Internet Explore を立ち上げ、そこに NetAcademy（スタンダードコース）の URL (<https://ecall.uec.iwate-u.ac.jp/anet2/>) を入力して「ALC NetAcademy2」の画面を開く。
- ⑥ もし VPN 接続がうまくいかない場合は、コンピュータ内部のプロテクト機能が作動していたり、ウイルスソフトが働いて接続の邪魔をしていることが考えられますので、そうした機能を解除して試してください。
- ⑦ VPN 接続がどうしてもうまくいかない時は、「情報基盤センター」に問い合わせてください。

最後に

現在では英語学習を行うための様々な教材が開発されています。コンピュータで学ぶ NetAcademy もそうした教材の一つです。一時代前と比べると、外国語に関する学習環境は遥かに進歩しています。

しかし、どれほど優れた外国語学習教材が開発されても、それを使って学習するのはあくまでも人間です。外国語学習に一番必要なのが意欲と情熱であることは、今も昔も変わらない事実です。

岩手大学では NetAcademy（スタンダードコース）を学生全員に解放しています。それを活用して英語の力を向上させていけるかどうかは、あなたがた一人一人の情熱にかかっています。

英語の力を身につけたいと漠然と思い描いている人は、その漠然とした夢を具体的な学習に結び付けていってください。NetAcademy は、あなたの夢を実現するための強力な助っ人になるはずです。

NetAcademy の利用に関する質問（VPN 接続関係の質問は除く）は以下のメールアドレスで問い合わせしてください。

saihirog@iwate-u.ac.jp（人文社会科学部 齋藤博次研究室）

